

「JA庄内みどりの未来を考える会」 プロジェクト 検討結果報告

「JA庄内みどりの未来を考える会」は平成27年9月に発足し、平成28年11月に理事会へ答申を行いました。答申内容については、広報2月号で紹介させていただきましたが、その中から優先順位を決め、実効性のある施策を遂行するために、プロジェクトを発足させるよう答申の中で要請を受けていました。今回、答申書に基づき具体策を作成するために4つのプロジェクト会議を今年5月に発足し、4回の協議を行い、平成29年9月に理事会へ答申内容実現のための事業計画書をプロジェクト答申書として提出しました。「JA庄内みどりの未来を考える会」プロジェクト会議の検討結果について紹介します。

答申実現のための4つのプロジェクト発足

平成28年11月30日の答申書では「再生産できる農業、未来に続く農業」を大きなテーマとして掲げ、「農業を行いたい人が農業を続けることのできる仕組みづくり」、「組合員を主人公とした、どこでも参画できるJA」、「地域の人々の生活とともに寄り添うJAであるための社会貢献と情報発信」の3つの提言を理事会へ諮問しました。

この提言の実行具体策を作成し実行に移すため、左記の4つのプロジェクトを立ち上げ、具体策を検討・協議しました。

- ① 事業革新（担い手）
- ② 事業革新（事業戦略）
- ③ 組織運営
- ④ 社会貢献・情報発信

各プロジェクトのメンバーは、平成27年から「未来を考える会」の委員として参加している組合員6人と理事4人の10人、今回から新たに職員11人を加えた21人で構成。外部からの有識者として2人のコーディネーターを迎え、プロジェクトごとに5月から9月まで4回にわたり実行具体策を協議しました。

協議では、前回の答申書の内容と照らし合わせ、現状との違いや課題を洗い出すことからスタート。各プ

ロジェクトで検討する事項を選定し、速やかに実行に移せる改善方法や新たな方策をまとめ、具体的な事業計画書を作成しました。協議の経過と流れは次の表の通りです。

協議の経過と流れ

第1回	5月26日	答申書から検討事項の選定
第2回	6月29日	事業計画書の検討
第3回	7月28日	
第4回	9月8日	事業計画書の原案を確認・修正



プロジェクト委員名簿(敬称略)

- ① 事業革新（担い手）
佐藤仁（理事）、金野賢（組合員）、高橋栄子（組合員）、庄司功（職員）、太田淳一（職員）、樋坂忍（職員）
 - ② 事業革新（事業戦略）
後藤嘉弥（理事）、尾形長輝（組合員）、今野智（職員）、佐藤良子（職員）、石井周喜（職員）、曾我竜哉（職員）
 - ③ 組織運営
斎藤新一（理事）、小野真由美（組合員）、佐藤修一（職員）、柴田華奈（職員）
 - ④ 社会貢献・情報発信
小野寺一博（理事）、松本国博（組合員）、常田さとみ（組合員）、阿部達矢（職員）、小野真美（職員）
- コーディネーター … 河野栄次（生活クラブ生協事業連合会顧問）
鎌田剛（東北公益文科大学准教授）